

令和3年度 町政懇談会
質疑応答集

令和3年度「町政懇談会」開催結果（全3会場）

開催日	地域	会場	参加人数		
			男	女	合計
8月6日（金）	加悦地域	元気館	31	0	31
8月10日（火）	岩滝地域	知遊館	22	0	22
8月18日（水）	野田川地域	野田川ユースセンター	26	1	27
合 計			79	1	80

令和3年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	開催日	地域	質問内容	回答内容
1	8/6	加悦	Qクアハウス岩滝の修繕について クアハウス岩滝は多額の費用をかけ改修されたにも関わらず、今年までに何回も不具合が発生していること自体、由々しきことだと思うがどうか。	A町長 クアハウス岩滝は、開設から20数年が経過し施設全体の老朽化が進んでいるが住民の健康増進を考える施設として改修をしていく。今回は予算は主に施設整備とエレベーターの設置に割いた。今年度も修繕する必要がある設備があるので、具体的に議論を進めていきたい。
2	8/6	加悦	Q行財政改革について 財政の健全化は物と人とサービスだと思う。人の面で総労働時間と総人件費の抑制、行政機構の最適化計画が具体的に示されていないので示すべきだと思う。 一部の人や団体や事業者に対し、毎年、補助金や助成金などが支出されているが、財政改革のためには、絞りこんでいくべきだと思う。	A町長 本年の3月に示した財政計画の中の課題をご紹介します。 1つ目は大型の投資等による歳出規模の増大。2つ目は下水道会計への繰出金が多額に上っていること。3つ目は公共施設のあり方について最適化を考えている。町の財政を持続可能なものにするために、これらを進めていくことが重要と考えている。 A企画財政課長 第3次行政改革大綱で職員の適正化計画を作ることを掲げている。 補助金については、事業所向けや個人向けといろいろあるがなかなか減らせていない。新たな補助金は、合併する時に終期を決めて一定の効果が出たら廃止することとしているので、ご意見をいただきながら取り組んでいきたい。
3	8/6	加悦	Q大江山運動公園の草刈りについて 大江山運動公園の草が生い茂っているので改善していただきたい。	A町長 現地確認を行い対応させていただく。
4	8/6	加悦	Qちりめん街道の活性化について ちりめん街道に移住者の方がカフェを開業された。ちりめん街道は与謝野町の観光の起点であり、地元及び行政も具体的なアクションを起こす必要があると思うので考えを聞かせてほしい。	A町長 ちりめん街道で移住者の方がカフェを開業されたことは画期的なことなので、行政、地域も応援をしていくことが重要と思っている。
5	8/6	加悦	Q温江川の状況確認について 大雨が降ると温江川の水かさがかかなり上がるので、状況を見ていただきたい。	A建設課長 温江川は京都府管理の河川になるが、一番水位が上がる場所を見に行くので場所を教えてください。
6	8/6	加悦	Q池ヶ成公園について 登山マラソンのコースでもあり、大江山に登る一つの起点の池ヶ成公園のトイレなどをなぜ封鎖されたのかお聞きしたい。	A副町長 トイレをどのような形で修理するか協議していかないといけないが、現在の施設は閉鎖することでご了解がいただきたい。
7	8/6	加悦	Q豆っこ肥料について 豆っこ肥料が不足しており改善すると言われながら2年間たっているので状況をお聞きしたい。	A副町長 豆っこ肥料は、魚のあらとかの原材料の確保が難しくなってきたことが供給が追いつかない原因の一つになっているので、まず原材料が確保できるようにしていきたい。
8	8/6	加悦	Q織物業従事者の人材確保について 資料に織物業の人材確保の取り組みがあるが、人材が足りていないと理解したらよいか。	A町長 事業を継続したり受け渡して行きたいが後継者がいないとか、法人化されて販路拡大をしていく中で、織り手を確保できないなどのケースが生じている。
9	8/6	加悦	Q道の駅の屋外トイレの解体について 道の駅の要件として、24時間トイレと公衆電話が必要だと思うが、これをなくすことは道の駅がなくなると理解したらよいか。	A副町長 現在の24時間トイレは老朽化のため解体をして駐車スペースとして使ってもらう。24時間トイレは、現在の道の駅の建物の中のトイレを24時間使っていただけのように工事をしている。
10	8/6	加悦	Q与謝保育園、与謝小学校及び桑飼小学校の統合後の検証について 与謝保育園はかやこども園に与謝小学校と桑飼小学校は加悦小学校に統合されたが、統合後の検証はされているのか。	A教育長 保護者の方からは統合してよかったと聞いている。教員の心配も杞憂に終わる部分が多くこのびのびと活動していると聞いており、今のところは概ね良好だと思う。
11	8/6	加悦	Q外灯やカーブミラーの設置の要望に対する回答について 区要望で外灯やカーブミラー設置の要望を提出するが、毎年お金がない理由で却下される繰り返しになっている。財政が逼迫していることは理解しているが一緒に考えていただきたい。	A防災安全課長 カーブミラー等が必要であれば役場が設置すべきだと思うので、場所を教えてください確認をしたいと思う。 A町長 要望事項に対して簡潔に返答しており、考え方をしっかりお示しすることと、住民の皆様が求められることに対して答えていく姿勢をもっと持つべきと思った。
12	8/10	岩滝	Q市町連携について 自治体により支援制度が異なるので、2市2町との連携が必要ではないか。	A町長 5市2町で北部連携都市圏を形成している。宮津与謝1市2町は天橋立を世界遺産登録に向けた取り組み、府道の整備などで連携している。
13	8/10	岩滝	Qメンタルヘルスケアの窓口について 相談窓口心理カウンセラーを配置される必要があると思う。	A町長 心のケアの必要性はコロナ禍で高まっていると認識している。恒常的ではないが臨床心理士の協力を得て相談対応している。職員の体制は構築できておらず、仕組みを検討していきたい。
14	8/10	岩滝	Qふるさと納税について まちの歳入を増やすと期待される、ふるさと納税の実績はどうか。	A企画財政課長 令和2年度決算状況で4,700万円程度で制度発足後、最多を更新した。全国的に人気がある返礼品は肉と海産物であり、本庁では昨年12月から海産物が取り扱えるようになった。令和2年度決算では効果が表れていないが、令和3年度に期待している。

令和3年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	開催日	地域	質問内容	回答内容
15	8/10	岩滝	Q子どもたちの居場所づくりについて 子どもたちの居場所づくりを含め地域共生社会をつくりあげる必要があると思うが、町長の考えをお聞きたい。	A町長 昨年度から学校と家庭以外の居場所をつくるため、キッズステーション事業を開始し、岩屋区と後野区と男山区で取り組まれている。一つでも多くのキッズステーションを形成していきたい。
16	8/10	岩滝	Q地区要望について(冠水対策) 浜町区では道路冠水が課題である。調整池で使えるような場所もあるので、早めの対策を講じていただきたい。	A建設課長 高潮対策には、相当大きな雨水調整池が必要となる。
17	8/10	岩滝	Q地区要望について(スケートボードのヤード整備) 網野岩滝線の自転車歩道で、スケートボードをする子供が増えている。高齢者から通りにくいと苦情があるので、民家から離れたところにヤードだけでも作っていただけないか。	A町長 スケートボードを行っている方が署名活動を行われていると聞いている。今後、要望があると思われるので、要望書を受け取り次第検討に入る。
18	8/10	岩滝	Q公共施設の利用制限について 緊急事態宣言、まん延防止措置時の公共施設の利用制限について。地域の青少年のクラブ活動がなくなるので、地域住民に限っての利用緩和を検討していただきたい。	A町長 府の措置を尊重しながらご意見を伺って柔軟な判断をしていく必要性を感じた。
19	8/10	岩滝	Q与謝野町過疎地域持続的発展市町村計画(案)について 与謝野町過疎地域持続的発展市町村計画の最大の目的は何になるのか。	A企画財政課長 目的は、弾力的に有利な財源確保や税制優遇措置等を受けるための計画。計画策定後、住民の考えるまちづくりにも変化があると思うので、その時々にあった内容変更は考える必要がある。
20	8/10	岩滝	Q地区要望について(交差点の見通し不良) 役場裏の駐車場(交差点)付近は見通しが悪くなるので車を置かないでほしい。以前から要望しているが改善されていない。	A副町長 消火栓のところは駐車できないようにしている。対策を検討したい。
21	8/10	岩滝	Q地区要望について(通学路の安全確保) 男山橋から医療センター等の抜け道に看板をしているが抑制できていないので対策を講じていただきたい。	A建設課長 グリーンラインを引くなり現場を見ながら対応を検討したい。
22	8/10	岩滝	Q不法投棄について 男山区有林付近に粗大ごみや産廃があり、住民環境課から看板をもらい設置し多少効果はあるが、啓発や不法投棄防止に協力と知恵をいただきたい。	A町長 町内全域で山間地域で不法投棄があり対応に苦慮しており妙案を持ち合わせていないのが現状である。
23	8/18	野田川	Q町が活性化できる施策について 仕事があると若い方にUターンしてもらいやすくなると思うので、若い方に帰ってきてもらいやすい施策をお願いしたい。	A町長 移住定住者の増加は、会社を経営する立場でも、地域を構成する一人でも重要なことと認識をしております限り進めていけるように努力していきたい。
24	8/18	野田川	Q公共施設の適正配置について 3つの町が対等合併した場合は、庁舎、体育館などすべて3分の1にするのが基本だと思う。具体案を挙げると、3つのうち1つを与謝野町の体育館にして、他の2つはその地域に払い下げをする。そのような発想の転換をしないと公共施設の統廃合は進まないと思う。各区長なり、住民の意見を聞く方が具体的な案が出る。	A町長 今後の公共施設のあり方については、住民の皆様にご参画をいただき、議論していただき取り組みを進めていきたい。手法やアイデアについて議論がされると思うので、住民に議論をオープンにする姿勢で今後の取り組みを進めていきたいと考えている。
25	8/18	野田川	Q公共施設の適正配置について 公共施設を減らしていかないといけないのであれば、例えば現在3つある体育館を使えるところまで使い、老朽化で使えなくなった時点で使用停止にし、小中高の体育館を使わせてもらえばよいのではないか。	A町長 体育館やグラウンドを活用される方は、社会教育の観点から活動を支えていかなければならないと考えている。一方で今後の町の財政状況等を考えたときに、全ての公共施設を維持できない状況にあると思う。どのように住民の皆様にご納得いただき進めていけるのかは、住民の皆様のご力を借りなければならぬと思っております。今月22日からのデザイン会議で様々な意見を頂戴し、方向性を見出せるように努力していきたい。
26	8/18	野田川	Q野田川地域の公共施設について 野田川体育館のある場所は、図書館や商工会などいろいろなものがあるので町の中心は残して欲しいが、町はあの場所に固執されているように感じている。あの場所に固執せず白紙撤回という第三者委員会の結論に重きを置き判断していただきたい。認定こども園は早く建ててあげて欲しいと思っている。町長は6月末に認定こども園に行かれて保護者から意見を聞かれたと思うが、どのような意見があったのかお聞かせ願いたい。	A町長 原計画に固執しているのではないかとのお話があったが、一旦白紙に戻し住民の皆様との議論を通じ最適解を出していきたいと考えており、若干見解に相違があると思う。先月末から8月上旬にかけて野田川地域の認定こども園、保育所の保護者の皆様と懇談をした。懇談の内容は予定どおり認定こども園を完成させることができなかつた謝罪が目的であった。保護者の皆様からは、これからどのように進めるのか、認定こども園の新設が遅れる場合、現有施設の充実にも目を向けなければならないのではないかと等のご意見をいただいた。
27	8/18	野田川	Qデザイン会議について 以前、こども園の議論をしたときに、意見を町がまとめたときには全く違うものにまとめられていたと聞いたので、意見を把握した方向性が出てくるのか心配である。 今度のデザイン会議がよくわからない。これでうまくいくのかと思う。22日に発足するが、どの地区で誰が委員になっているのかわからない。町民はどの人が委員になっていて、どういった議論がされるのか見えない。無作為で選り議論する形はいいように見えるが本当にうまくいくのか。進行状況を教えてほしい。	A町長 子ども子育て会議で議論されていた内容と結論が違うのではとの話しは、我々はそのようには思っていない。そのように言われるのであれば、どこが不十分であるのか具体的に示していただけないと話ができない。後日、ご指摘いただければ返答をさせていただきます。 A企画財政課長 地域デザイン会議は、当初は各地域から30名ずつ募集をしたが、現在、どの地区も20名程度の人員でお世話になる予定である。無作為抽出で募集し参加してみたい方が、手上げ方式でお世話になる形である。会議は基本的に公開し、傍聴もできるようにする。22日は緊急事態宣言が発令されるためWeb方式で行う。Youtube配信も考えている。この会議で結論を出そうとは思っておらず、地域によっていろいろな意見が出ると思うので一旦は意見を頂戴し、第2段階の専門家を入れた委員会でも方向性を求める形にしたいと考えている。

令和3年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	開催日	地域	質問内容	回答内容
28	8/18	野田川	Qデザイン会議について 町づくりをするのに意見を言いたい人がいれば参加してくださいとの形に、なぜできなかったのか疑問に思う。	A企画財政課長 無作為抽出で検討委員会を立ち上げるのは初めてであり、他の自治体の事例を参考にした。男女、年代の区別なく多種多様な方を無作為抽出して、その中から手上げ方式で選出した。どのような結果になるかわからないが、住民参画の一つの新しい手法としてやってみたい。意見が言いたい方は、2段階目の委員会等に参画していただける機会を持たせるとか、意見を広く集めることは検討していく。
29	8/18	野田川	Q町政懇談会の目的について 町政懇談会は町長が町民に伝えたい、意見が聞きたいときに行われるものだが、町長が町民に何を伝えなかったのか、聞きたいのかお聞きしたい。	A町長 町政懇談会の目的は、当該年度の行政方針や行政の事業について、住民の皆様にお知らせをしたい。
30	8/18	野田川	Q町長の政策方針について なぜきちっとしたランドデザインが描けないのかお答えいただきたい。	A町長 町民憲章を理想とし次総合計画を策定し、それに基づき行政運営を行っている。第2次総合計画でみんなでもらいをみえる形で作っていくことを理念として、7つの政策方針を掲げてその方針に基づき毎年度の予算編成を行っている。
31	8/18	野田川	Q庁舎統合問題について 本庁舎を閉鎖して加悦庁舎を本庁にするなど町としての方向性をお聞きしたい。	A町長 庁舎問題は、住民の皆様と伴に議論をしていく必要があると認識している。 庁舎問題検討委員会では将来的に町の中心地に総合庁舎を建設し、それまでは分庁舎方式を継続することが提言されたと認識している。現在、総合庁舎の建設のための積み立てを行っている。 公共施設については、住民の皆様との議論を通じて最適化を目指していきたい。
32	8/18	野田川	Qデザイン会議について 30人を目途に募集をされて、20人しか集まっていないとのことだがもう募集はされないのか。	A企画財政課長 20名弱が3地域という状況です。この20名弱に手を挙げていただくのに既に2回募集をしたので、これ以上追加募集する考えは持っていない。
33	8/18	野田川	Q岩滝体育館について 岩滝体育館は、耐震改修か新築をする資料を見た記憶があるが、どのように考えておられるのか。	A副町長 新設をする話はないと思っている。
34	8/18	野田川	Qあり方検討委員会の提言について 第3者委員会で振り出しに戻すことになったが、中央公民館、体育館も踏まえて振り出しに戻す解釈でよいのか	A町長 原計画案については一旦白紙に戻す。私たちからその提案を議論してもらうことはしない。
35	8/18	野田川	Qあり方検討委員会の提言について あり方検討委員会の報告書の対応について、野田川体育館を含む野田川地域の社会体育施設の再編計画及び野田川地域の就学前教育・保育施設認定こども園整備計画を提案する前の状況に戻し、原案を含めて再考するとあるので、原案にこだわっておられると理解をするが。	A町長 取り方についてはそれぞれあると思うが、私たちからあの場所に認定こども園を建てる議論をしてほしいと投げかけるつもりはない。
36	8/18	野田川	Qあり方検討委員会の提言について 白紙ということは、今まであったものをなくして新しく構築するということ。その常識が通用しないのであれば、誰も行政を信用しなくなるので、善処されることを要望します。	A町長 原計画案について、様々な委員会で議論していただいた経過があり、その議論をなかったことにすることは出来かねるので、その文言になった。
37	8/18	野田川	Q住民参画のまちづくりについて 町職員がまちづくりを担い進めていくのは限界がある。いかに町民が持っている能力を引き出して、結集させていくかがまちづくりの生命線だと思う。今までどおり町が作った原案を基にそれを町民が協議していく形ではなくて、ランドデザインを作る段階から、いかに町民の知恵が結集できるような形がどのような形なのかに知恵を絞っていく必要があると思う。	A副町長 地域デザイン会議の20名は、3地域それぞれ20名ずつの合計60名で、まずは地域毎に事情が違うので、そこでデザインを作り上げていただきたいと思っているので、いろいろな意見をいただきたい。